

庄内・新潟 日本海ガストロノミーツーリズム事業
庄内藩のサムライ文化と新潟の豪農文化を
「陸の北前船」と「新進気鋭のシェフの料理」で体験する
モニターツアー参加者募集！

荒波を越え、動く総合商社として日本各地に繁栄をもたらした北前船。その寄港地だった鶴岡と新潟を結ぶ、現代の陸の北前船「羽越線」に乗り、それぞれの歴史と食文化を気鋭のシェフらの手で表現した料理を、歴史を生きた方々との交流、食文化のブログガイドの解説と共に楽しみいただきます。



【日程】2023年11月23日（木・祝）～24日（金）
 【ツアー地】山形県鶴岡市、新潟県新潟市
 【募集人数】①②③合計20名（定員に達し次第締切り）

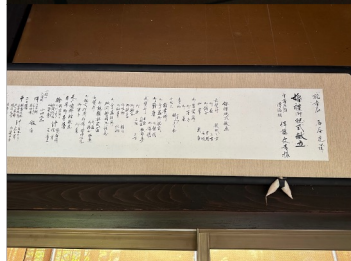


①庄内・新潟満喫コース（1泊2日）お一人様料金：105,000円（税込）

※ツアー料金に含まれるもの：宿泊費、食事（昼2、スペシャルディナー2、朝1）、黒川能新嘗祭玉串料、各所拝観料、ガイド料（集合から解散までの間の現地交通費は主催側で負担いたします）

DAY1（11月23日木・祝）：新潟→庄内

9：45 新潟駅在来線西口改札 集合
 10：11 新潟駅出発（海里）
 車内で特製お弁当昼食
 13：04 鶴岡駅到着 タクシーで黒川へ
②の庄内堪能コースは13：00鶴岡駅改札集合
 13：30 新嘗祭黒川能奉納を春日神社で見学
 14：40 タクシーで移動
 15：00 松ヶ岡開墾場見学
 17：30 スペシャルディナー@本陣
 テーマ：サムライ文化&ユネスコ食文化創造都市鶴岡
 21：00 移動～鶴岡駅経由 *②の庄内堪能コースは鶴岡駅で終了
 宿泊：湯田川湯どの庵またはつかさや旅館



DAY2（11月24日金）：庄内→新潟

7：00 朝食（宿泊先）
 8：00 タクシーで移動
 8：30 善寶寺拝観
 9：31 鶴岡駅出発（いなほ6号）
 10：28 村上駅着。村上町家と黒堀通り散策、特産鮭の昼食
 13：30 村上駅出発（いなほ8号またはマイクロバス）
 14：19 新潟駅到着、マイクロバスで移動
③の新潟堪能コースは14:00新潟駅西口改札集合
 14：45 新潟総鎮守「白山神社」参拝
 15：15 マイクロバスで移動
 16：00 北方文化博物館見学
 17：30 スペシャルディナー@北方文化博物館大広間
 テーマ：3日3晩の豪農の披露宴&食の交差点新潟
 21：00 マイクロバスで移動～新潟駅にて解散

②庄内堪能コース（11月23日木祝、宿泊なし）

お一人様料金：42,000円（税込）

※ツアー料金に含まれるもの：食事（スペシャルディナー1）、黒川能玉串料、ガイド料（集合から解散までの間の現地交通費は主催側負担）

③新潟堪能コース（11月24日、宿泊なし）

お一人様料金：37,000円（税込）

※ツアー料金に含まれるもの：食事（スペシャルディナー1）、ガイド料（集合から解散までの間の現地交通費は主催側負担）

☆各ディナーのみの参加も可能です。鶴岡、新潟ともに、37,000円（税込、ドリンク付き）となります。

*このツアーは、鶴岡市より国際親善観光大使として任命されたベンジャミン・リャオ代表率いる「ハワードトラベルビューロー台湾」が主催、鶴岡joinおよびOffice K&Mが企画実施するものです。主にインバウンド向けに提供されますが日本人のお客様も参加できます。（英語通訳付き）

お問合せ・お申し込み：ハワードトラベルビューロー台湾 日本窓口担当：office.kandm.yamagata@gmail.com

庄内エリア

お話を聞ける方々：庄内藩第18代当主、松ヶ岡開墾士末裔、食楽チームの生産者のみなさん、鶴岡市認定ふうどガイド



戊辰戦争後、庄内藩の武士達が刀を捨て鋤を取り開墾した松ヶ岡開墾場。藩主の仮住まいだった本陣が食の舞台に。



「サムライシルク」と呼ばれる鶴岡の絹産業の歴史と未来が学べる「シルク未来館」。



「gira e gira」古門浩二

1976年、神奈川生まれ。三年間のイタリア修行から帰国後、青山の有名イタリアンのスーシェフとして活躍、その後庄内に移住。満を持して開店したBeddaSiciliaは、素材の持つ素直な美味しさを生かしつつも圧倒的な独創性が世界のグルメをも唸らせる大人気店に。2022年移転改名、国内各地のブランディングなども精力的に手がける。



食文化創造都市鶴岡を語るキーワードは、修験道などの信仰文化、藩主酒井家の藩政により保たれた農への敬意、黒川能などの伝統芸能、そして生きた文化財「在来作物」。貴重な種を守り繋ぐ農家など、生産者さんたちと語り合いながらおいしい酒と食事と囲む「食楽」スタイルは、今、大ヒットのコンテンツ。

新潟エリア

お話を聞ける方々：豪農伊藤家当主、作事方佐藤氏、食文化プロガイド



豪農の館「北方文化博物館」 明治から昭和を代表する新潟の大地主、伊藤家の本邸。100畳の大広間から眺める庭園は絶景。

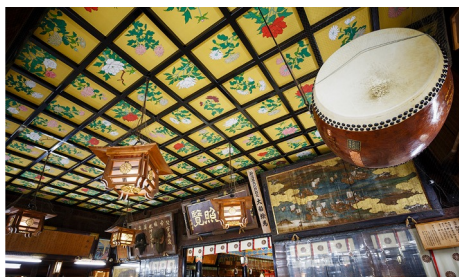


「旬菜懐石 拓」川崎 拓海

1980年、新潟県村上市生まれ。新橋金田中、東京の路傍料亭、地元の割烹などで修行。その土地の季節の食材に寄り添う哲学や孤高にして丁寧で真摯な姿勢や仕事ぶりが光る。ミシュランガイド新潟2020 ビブグルマン掲載 新潟ガストロノミーアワード 飲食店部門 特別賞 受賞



城下町村上市の町屋群。住民の努力で復活した黒塀通りは、村上の誇る鮭とお茶の文化と共に大人気に。



新潟の総鎮守「白山神社」に奉納されている「大船絵馬」。北前船の歴史を体感できる。